

各部会からの計画全体に対する意見

【福祉のまちづくり部会より】

- (1) 理念のわかりやすい説明や事例をコラム等で計画の冒頭に掲載し、計画を読んだ方が自分事に捉えられるようになるとよい。
- (2) 地域福祉計画は支援を必要とする人の計画であると思うので、積極的な支援、一歩引いた支援などを、理念の中に取り入れられるとよい。広い意味では「共感」に当たる。生き方を一人ひとりが共感できることが重要である。
- (3) 地域福祉が「家を出よう」「協働で一緒に何かしよう」という積極的アプローチに偏りがちになることで弊害や行き詰まりの要因になることを懸念している。地域が受け入れる、見守るという考え方を計画の中に取り入れてほしい。

【権利擁護部会より】

- (4) 個別の課題について、家族全体としてどのように支援していくか検討していくことが大事であり、単独で解決できないケースを様々な機関と連携し、世帯を支援していくための多機関連携が必要になる。
- (5) 声が出せない人の生活ニーズをキャッチするため、行政から積極的にアプローチしていく。それが充実すれば、色々な課題が解決する。
- (6) 計画の目標は、数値では表しにくい多様な要素がある。数値に縛られるだけではない目標設定も必要ではないか。